

- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(柳澤監督映画上映会、大学生ボランティア・研修受入)
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

192号/2021 ▶ Since 1984

「我を知る」

杉浦 良

「ところで杉浦君、給料ミーティングを見学させてくれないか？」

太陽と緑の会創立者近藤文雄（1998年寂）から申し出がありました。今から30年程前のことです。給料ミーティングは、ハンディーを持ったメンバー達の給料（工賃）を、千円アップとか現状とか百円ダウンとか、前回の給料と比べて、自分で申告をしてもらい、それを専任スタッフだけでなくメンバー達も参加して査定するというものです（スタッフについては、メンバー達からボーナス討論会で査定されますが給料はしていません）。

「Aさんは前回3万5千円でした。今回の希望は？」「千円アップ！」

「Bさんどう思いますか？」「・・・前と同じ」

「どうして？」「スタッフがいるとやるけど、おらんようになったら、こっちに・・・作業を押し付ける・・・」

そんなやり取りを全員に投げかけます。アップダウンの平均を取り、今月のAさんの給料は百円ダウンとなりました。

「異議があれば言って下さい。無ければ決めてもいいですか？」



機関誌をとじる作業。昔ながらの手作業です

「何でや！おれ・・・ちゃんとやっとな！Bがごじゃ（デタラメ）言っとな・・・」

そんな反論に

「しかしみんな良く見とるなあ・・・あの頑張りは、俺がいる時だけだったん・・・？」

そんなやり取りをするうちに、勢いが萎れ、伏し目がちになるAさんがいました。私は司会役で、余程の事が無い限りミーティングには参加しません。参加すれば私の顔を伺うようになっていたり、私の意見に流されたりするのを感じているからです。

「Cさんは前回1万円でした。今回の希望は？」「百円下げて・・・」

「では・・・Dさんはどう思う？」「Cさんの言うとおりの・・・」

「百円ダウンでいいの？・・・でもCさん良くやれるようになったね・・・？前は5分もすると作業に集中出来なくなり、ボーっと天井見てたけど・・・最近は少し長くやれるようになったと違う？」「じゃあ前と同じ・・・」

Cさんの給料は百円アップとなりました。一瞬、Cさんがニヤッとしました。

「給料ミーティングは『己を知る』ということだね・・・」

そんなやり取りを腕を組んで聞いていた、創業者近藤文雄の言葉です。今までに給料ミーティングをそう言い換えた人はいません。「自己評価が非常に低いか極端に高いかに分かれてしまい・・・なるほどなあと思える方がなかなかいない」そんな感じを、様々なハンディーを持った方々とお付き合いさせてもらながら抱きました。ただ、それはお付き合いさせてもらった方々の問題でなく、一般社会の中で普通に生きることから遠ざけられたり、特殊な環境に置かれたことによることから形作られているのでは、と感ずるようになりました。健常者と呼ばれる方々では、社会に出れば普通に世間の風が吹きます。いくら学校の成績が優秀でも、仕事の成績が優秀である保証はありません。むしろ学校の成績が余り芳しくない方が、後世に名を遺す人が多いとも聞きます。山あり谷ありの人生は、このことから推察されるでしょう。

「ノーマライゼーション、インクルージョン、バリアフリー」などという言葉が当たり前になり「障害者福祉の本質は基本的人権の尊重と自己実現」などという言葉も、普通に使われるようになりました。ただそんな今を「透明な金魚鉢の社会」と言い換える方もいます。「金魚鉢の中にいると外との境界が無いように見えるが、ガラスの壁に阻まれる社会」とも言えるでしょうか。金魚鉢の外で世間の風が強すぎると、立ち上がる気力すらなくなるが、内では荒波や外敵から守られるが、そのうちに金魚鉢の外では生きられなくなる、そんなイメージでしょうか。世間の風を感じつつ、風が余り強い時は困ってもらい、穏やかになればその人なりの足で立ち、時には失敗の大変さも感じつつ、自分なりの足で歩いていく、ハンディーはあっても、己を知りつつ人生の皺を刻み込んだ存在に・・・昔を振り返り、そんな夢に浸るこの頃です（今は時給ミーティングと名前を変え、メンバー自己申告、スタッフ協議での決定にしています）。

お知らせ

第2回柳澤監督映画上映会 「夜明け前の子どもたち」

日時 令和3年7月25日(日)

①10時30分～12時50分

②13時30分～15時50分

入場料 300円(当日のみ。資料代金)

会場 藍住町総合文化ホール
(徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前32-1)
(TEL 088・637・3344)

主催 徳島で柳澤壽男監督作品をみる会
(代表 NPO法人太陽と緑の会)

共催 藍住町総合文化ホール

柳澤壽男監督(1916～1999、享年83)は、近年高く再評価されているドキュメンタリー映画の巨匠です。小川伸介、土本典昭、黒木和雄などの優れた監督が尊敬したことでも知られます。

特に福祉ドキュメンタリー5部作は、障がい者問題を静かに見つめ、色あせない問題提起を我々に投げかけてくる力強い作品で、東京や神戸などで上映会が行われています。

映画史的には2018年に新宿書房から分厚い資料集『そっちやない、こっちや 映画監督・柳澤壽男の世界』が刊行されたことで、その作品評価はゆるぎないものになりました。

この企画は、監督の弟子筋にあたる太陽と緑の会・杉浦良が、天国の師匠に捧げる渾身企画です。令和2年から5年間かけて柳澤福祉ドキュメンタリー5部作を、徳島の藍住町総合文化ホールで上映する試みの第2回目になります。多数ご参集ください。

大学生ボランティア・研修

2月18日～3月1日の9日間、四国大学4年生のFさんが当会の活動にボランティアとして参加して下さいました。授業の一環とのことでしたが、片道40分の道のを自転車で通い、午前10時から午後6時まで、熱心に取り組んで下さいました。

2月19日午後、四国学院大学大学生5名と富島先生(社会福祉学部教授)が来られました。支援学校の教員などを目指す学生を対象に、映画「そっちやない こっちや コミュニティケアへの道」(1982年/110分/カラー 監督/柳澤壽男)を事前に大学の講義で見た後、太陽と緑の会にて、パワーポイントによる活動紹介と合わせて杉浦の話を聞くというものです。

当会でボランティア活動中だったFさんの特別参加と、富島先生の「良かったとか、凄かったとか言うけど、どこが良くてどう凄かったかを説明してくれんと判らんわ・・・」といった突っ込みが、良き学びに繋がったのではと、勝手に思っております。

大学に10時集合して、ハートランドあつぷると太陽と緑の会を研修見学する講義の一コマ、企画した富島先生に感謝です。「こんなところもある?!」といった若き日の記憶が、役立つ事を願っています。

作業所事業所研修会

3月6日午後からホテル千秋閣(徳島市)にて、県内作業所・事業所の研修会を行いました。新型コロナ対策として、例年行っていた懇親会は中止し研修会のみとしました。

今回は欠席が多く9カ所の参加でしたが「新型コロナの影響で私たちの作業所・事業所は？」をテーマに活発な言葉が交わされました。

内職等が中心のところでは作業に大きな変化はないが、新型コロナ対策に時間とエネルギーが必要だったこと、お菓子や小物づくりをしてイベント等で販売していたところでは大幅な減収でメンバー工賃に苦労したこと、コロナ対策関連助成金を書類と格闘しながら申請したこと、全体運営費に占める公的助成割合が少ないところでは、会の運営自体に危機感を持ったことなど、様々な意見が出されました。

毎年行っている行事を新型コロナ対策で中止し、メンバーたちが意気消沈しているなど、メンバー達の活動にも影響が出ています。対策を取りつつ実行可能な活動を計画し、大変ながらも実行したところなど、勇気と決断が必要な一年だったことが伺われました。

リモート会議の提案もされましたが、県内の作業所・事業所が一堂に顔を合わせて話し合うことの大切さを感じた3時間でした。

その他

2月16日13時~14時30分 杉浦講演
2020年度人権・ハラスメント講演会
(於:徳島文理大学徳島キャンパス)

差し入れ頂きました

浄土真宗のお寺(尊光寺等)の皆さんから「フードロスをなくすために、まだ食べられる食材を集めてきました」と、5回に渡り、食料品・お菓子・調味料などを頂きました。いつも持って来て下さる竹條さんから美味しい手作りのお菓子も頂きました。

メンバー達の食材やおやつとして活用させて頂いています。

ショコラティエo'ott(オッツ)瀧倉修さんがチョコレート「阿波雪しょこらー阿波雪の薔薇」を送って下さいました。

年末の12月26日、理事のKさんが豚汁を作りに来て下さいました。毎年来て下さって、本当に有難いことです。

2月14日のバレンタインデーに、理事のKさんからチョコレートやキャンディを頂きました。

また、平成元年に一年間ボランティアとして活動に参加しその後4年間スタッフとして残って下さったFさんからもチョコレートが届きました。30年のご縁に感謝です。

今から30年程前、ワークキャンプに参加してくれたTさんから商品券と一緒に「ニセモノの給付金を送ります」との洒落たメッセージとともに「壹万円チョコレート」が届きました。

いつもミカン等を差し入れして下さいる多田さんから、今回はデコポンを頂きました。「暖かくなるとすぐに腐るから、早く食べてね!」そんな有難い言葉とともに、いくつものコンテナに入ったデコポンがありました。

皆様、本当に有難うございます。

定休日

5月19日(水)25日(火)26日(水)
6月2日(水)7日(月)8日(火)9日(水)16日(水)21日(月)22日(火)23日(水)30日(水)
7月7日(水)12日(月)13日(火)14日(水)21日(水)22日(木・祝日)23日(金・祝日)27日(火)28日(水)

今年は新型コロナウィルス感染予防対策のため、例年より長めのGW休みとさせて頂きました。

当会をご利用して下さいる皆様には大変ご不便をおかけすることになるかと存じますが、よろしくお願ひ致します。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2020年12月20日～2021年4月12日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

三好商事自動車部、四宮、井内、曾我部、田村、森、匿名、福島、生田、生田、久次米(郵便振替口座)益田、中村、坂東、匿名、小暮、伊地知、野田、松田、堺、秋山、鈴江、巻島、瀧倉、大田、高坂、佐藤、本田、近藤、松尾、浜田、杉本、平島、太田、亀倉、北岡、阪野、永口、足立、黒須、森、太田、武田、三代田、榎本

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○林、加藤、浅尾、村瀬、谷口、杉原、藤井、岡島、石本、照本、藤本、原、遠藤、猪俣、大寺、福永、藤川、板東、近藤、原田、島本、第一病院、鎌田、横田、吉本、國見、佐原、宮城、長尾、元木、西田、竹内、大島、倉内、元木、瀬尾、八十川、青井、小笠原、岡林、中園、山口、津田、杉浦、山田、中西、岸本、津田、小倉、大吉、三浦、山本、田中、宇原、関、森、板東、井内、西川、藤岡、正木、照本、細川、後藤、加藤、白石、桜井、津村、木村、助岡、菅、阿部、酒巻、妙見、梶井、水沢、鈴江、田和、黒川、原、吉岡、森田、武市、山下、猪山、藤本、平岡、野々瀬、大上、三ツ井、伊藤、三木、麻植、新居、薮原、荒木、岡本、大島、本田、前田、大西、下泉、橋本、富村、坂口、荒川、清水、浜口、福永、大森、上久保、岩田、滝本、梶本、泉谷、横田、工藤、正木、西川、友行、元淵、富永、吉岡、渡辺、逢坂、松浦、徳島県東部県土整備局、田所、須崎、多田、久保、笹島、菅、武川、泉、南、増田、河野、中谷、杉本、楠、姫田、石牧、大和、板東、榎尾、岡田、徳永、後藤田、福田、津田、伊丹、伊藤、竹中、齋藤、清水、栗林、山崎、上田、木村、友成、森永、山中、小磯、野口、富永、木下、小出、野々瀬、森、森下、吉田、宮田、湯浅、松村、杉浦、奥山、林、佐藤、津田、高木、芥川、井上、岸本、小川、リンゼン、福永、野崎、阿部、永栄、原田、鳥野、安藝、野村、榎内、庄野、川崎、窪川、位田、高橋、清水、松本、谷内、吉永、小笠、榎原、日下、榎本、平岡、浅野、岩崎、中川、広田、近藤、児玉、江島、尾崎、佐々木、高川、先山、森本、大笠、大野、新居、川真田、栗飯原、松島、西村、高野、田岡、徳島大学生協、馬場、荒井、泉、小松、鈴木、天地、宮本、木下、福本、本原、宮井、上田、野中、吉永、杉原、布施、小川、朝日、伊丹、藤田、浅尾、美濃、相原、大西、大久保、原田、秋田、姫野、兼子、笹田、小寺、平野、浜崎、寺岡、源、寺奥、大栗、黒島、松本、堀、南、野村、美馬、宮崎、四方、服部、クレール、福山、栗原、近藤、吉野、国府小学校、PhamTcowPhuay、島野、藤川、大坂、藍谷、広岡、志築、斎藤、池田、吉永、天和、庄野、宮本、大井、森本、阿部、位田、伊丹、朝日、加川、東條、萩原、柳ノ本、楠、片寄、梶尾、真鍋、堀部、廣田、和泉、渡辺、青木、上原、吉川、長浜、大島、中西、林、宮井、三馬、萩野、村山、三星、三宅、加納、小林、河上、為水、濱田、結城、藤川、森下、澤田、畑、和佐、鈴江、大西、増田、安藤、岸、いのちのさと、山下、恵川、野本、荒川、津田、佐々田、川尻、尾池、高岡、田野、恵川、山室、工藤、梅津、澤口、越谷、大久保、谷本、村山、佐野、和田、嵯峨、西野、瀬尾、中平、金山、日高、安藤、久米川、杉山、乾、尾方、古田、河野、池田、若林、神下、大村、住友、松浦、貝津、岩本、阿地、小西、山下、石本、栗飯原、諸本、栗林、高西、笠井、柿本、原、金森、野口、瀬尾、大野、鈴木、田中、村井、若松、結城、川人、寺井、キモト、廣澤、長船、川崎、中山、天羽、雑賀、井澤、井上、國見、松倉、高木、志摩、新居、益田、津田、岩本、梅本、大西、佐藤、熊川、月岡、吉村、麻植、柳、杉本、山崎、武岡、荒川、久米川、榎本、榎原、久保、徳永、名田、川口、丸笹、団、早淵、清水、笠井、瀧、小倉、中筋、喜多、岩野、正木、原、高多、片岡、大木、姫野、松下、市原、安喜、カワノ、武市、森本、大上、皆谷、松田、吉原、梅原、矢野、宮西、村上、山川、播磨、鳥野、平野、坂井、山岡、武田、森口、矢野、野々瀬、向井、大岩、張○藍住町○犬伏、和泉、山本、柳野、藤永、豊岡、三好、岩谷、渡部、阿部、久次米、入山、蔭山、西岡、奥谷、(梯)ROOM NAVI、皆谷、永田、板東、古市、南、浜、佐竹、藤本、山田、富永、前田、高島、木内○北島町○山谷、大内田、島田、山川、佐藤、今市、糸永、吉永○石井町○近藤、岡田、植田、武市、平尾、井上、経塚、重井、西浦、井内、下田、齋藤、平岡、瀬部、浅井、野村、桑内、佐々木、藤沢、森野、武田、杉本、秋月、住友、藤陰、岸上、遠藤、吉田、秋山、芝、浦本、大石、桑原、松浦、游佐、伊勢、石本、福生、加藤、新見、北岡○鳴門市○山本、芝、東、青山、渡辺、田淵、阿部、高橋、益田、正木、佐々木、野々瀬、福山、森、板東、示井、西、吉村、高田、林田、榎原、谷口、細川、正木○吉野川市○片岡、中野、十川、森、久保、出口、横瀬、明石、岸田、柳原、小原、藤田、露口、中西、大谷、高橋、齋藤、桑原、藤田、藤井、原田、白岩、市村、住友、明石、上岡○板野町○高橋、池田、上田、辺見、杉本、片岡、石川、阿部、三木、岩下○松茂町○岩本、小林、朝井、どんどこどん、吉岡○三好市○山下、馬場、藍原○小松島市○新居、浜崎、石山、秋山、山下、栗本、清井、藤野、前須、山内、坂尾、坂田○阿南市○上田、家神、原、本田、上原、神野、武市、石川、原田、小野、藤原、武藤○美馬市○高木、加藤、藤本○神山町○森、田中、伊藤、山下○阿波市○新見、大倉、植木、三原、川野、坂東、宮下○上板町○安永、飯田、エビス、笠井、安岡、森、北村、松岡、松田○佐那河内村○栗原、阿部、彦上○東みよし市○田中○上勝町○田中○神山町○藤本、河野○つるぎ町○小野、山下○勝浦町○東、上野○牟岐町○古藤、坂本○海陽町○矢川○美波町○辺見○香川県○中石、松村、上野○鳥取県○平林○長野県○加藤○静岡県○杉本○福岡県○永峰○埼玉県○亀倉、本田○東京都○瀧倉、小林、三木、田中、小林、高橋、小山、瀧倉、蒲田○愛媛県○浜田○京都府○木村○岡山県○高橋○長野県○吉川

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○小椋、近藤、武岡、岡田、遠藤、幸田、池田、南、佐藤、山田、四宮、久岡、村崎、尾崎、大北、矢部、西林、志摩、ウオザ、若草幼稚園、土肥、宮越、毛利、鎌田、内田、池村、押栗、横山、酒井、名賀石、糸井、松田、赤澤、豊井、宗田、上野、明石、漆原、ユアサ、住友、宇治、川野、大櫛内科、蔵本、来島、生田、吉田、日浦、松原、福永、尾崎、ピンク美容室、三木、宗田、ホソヤ、上西、山口、川人、宮崎、高木、ハヤクモ、濱田、西、河野、山一水産、米原、岸野、プラブン夏子のリフォーム 久米、早淵、丸益、大戸井、中井、池田、友井、東山、坂本、高橋、出口、藤田、吉田、伊藤、今枝、西谷、増田、米沢、田村、渡部、小林、松本、和泉、安芸、田中、井上、宮成、端野、瀬戸、田村、高橋、沢田、中村、真鍋、森脇、大嶺、後藤、松浦、木下、岩崎、オグラ、神田、しらすぎ自動車 坂本、水間、宇治、三宅、矢上、三井住友海上火災保険、安原、巻内、三好、丸岡、武市、豊田、大和、山田、藤谷、長野、米田、美馬、鈴江、川口、横山、木下、川原、藤原、松谷、西上、佐川、吉岡、今井、井内、浦上、武田、河野、藤永、井上、中元、大島、橋田、杉原、丸山、細谷、大櫛内科、宇治製薬、増田、渡邊、大笠、斎藤、島田、岡田、河崎、木藤、尾形、柿本、中田、新居、渡辺、西林、鳥海、吉田、松浦、浜田、多田、永峰商店、武田、河見、上田、金本、木村、小畑、安藤、岡、中原、笠井、可原、梅本、坂場、井口、渡辺、西野、平野、Kゼミナル、幸田、西原、浦上、村上、青木、新見、小山、七条、真鍋、森、岡、山ノ井、小坂、松谷、滝、漆原、林、木谷、モクボ、佐藤、白鹿、細川、高西、こうの、久岡、木内、湯浅、川崎、鈴江、立石、山崎、谷、橋岡、箱井、名西高校、井上、上野、谷口、セファニ、森本、山下、樋口、富永、東條、住友、小西、坂東、出口、ハートインライフ住吉 小山、木内、村瀬、宮越、宇治製薬、小坂、木下、北畑、米田、池田、平井、貝本、猪子、中村、上田、庄野、矢部、佐村、増田、宇治、小林、早川、岡、山本、栗本、福島、生田、高橋、村上、高田、県東部整備局○鳴門市○北室、平野、木内、中岸、赤川、久龍、ミヨシ、長野、青木、大岡、中山、諸田、前田、近藤、今井、大和、岡田、カノン、山下○小松島市○木下、楨本、藤本、土佐、鎌田○藍住町○上田、成田、市原、木内、森、林、中、有井、岡田、阿部、長袋、ヒラオ、佐藤、東○北島町○天羽、ケントホームズ、久米、津川、今川、藤田、安芸、木下、橋本○吉野川市○板野、前田、藤川、木元、おごし○石井町○三木、森、山崎、ひろま、久次米、井内、山崎、名西高校○松茂町○紙永、山田、大前、高橋、箱井、岡本、かげい、宮迫○藍住町○はた、佐藤、井上○板野町○二條

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

また、お野菜、果物、食材、お菓子、飲み物等を差し入れて下さった皆様も本当に有難うございました。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。



お客様から頂いたほうれん草。メンバーのAさんが洗って、みそ汁の具材に。大切に活用させて頂いております。

編集後記～努力は報われる

「努力は報われる」という言葉を耳にすることがあります。私自身、子供の頃から学校やスポーツといった環境の中で、幾度となくその言葉を聞いてきました。

ただ、様々なハンディのある方とお付き合いさせて頂く中で、「努力は報われる」という言葉は諸刃の剣なのでは、と思うようになってきました。

精神的ハンディを持つ当事者の方には、調子のよいときとそうでないときの波がある方が少なくありません。「努力して自分を高めていく」よりも、「調子の波に合わせながら、できることをやってバランスをとっていく」ことの方が大切になってきます。

そのようなハンディは表面的には分かりにくく「別に普通の人と変わらないじゃないか。一体どこがハンディなんだ」と見られ「頑張りましょう」などと言われたりした結果、火に油を注ぐ形となり、頑張れない自分を責め、疲れ果てて再入院を余儀なくされることもあります。言われなくても頑張ってしまうまじめな方ほど自分を追い詰め、「これ以上頑張れない」となって、自己否定から最悪の事態に至ってしまうことすらあります。

「無理しなくていいよ。ボチボチいきましょう」「(たとえ作業ができなくても)作業所に来れるだけでもいいからね(明日につながるから)」などという言葉は、傍から見ると「何を甘いことを言っているんだ」と思ってしまうかもしれませんが…。

「努力する」ということもある種の資質であって、誰でも当たり前に行えることではないと、感じる場合があります。

自分という存在を認めてもらう、自分なりにやったことが評価される、できなかったことができるようになる、そういった体験の積み重ねがあるかないかでも、かなり違ってくるでしょう。

同じハンディを持って生まれてきたとしても、抱きしめてもらった人もいれば、お前なんか生まれてこなければよかったと言われる人もいます。施設の前に捨てられて親の名前すら分からない人もいます。

衣食を十分に与えてもらえない人、身体的暴力、精神的暴力、性的暴力を受けて育つ人、障害基礎年金を親の遊興費や借金返済に充てる等の経済的虐待を受ける人もいます。

障害を乗り越えろ、健常者と同じことができるまで頑張りなと尻を叩かれたり、親族や近所に障害があることを隠し健常者と同じようにふるまうことを求められる人もいます。

それは自分で選ぶことのできない運命のようなものです。

「人は生まれながらに平等である」ということはなく、現実はかなり不平等です。どのような才能や資質を持ち、どのような環境で生まれ育ち、人生を歩んでいくか。スタート地点から大きく差のついた山登りの世界で、私たちは生きています。頂上にたどり着ける人はごく一握りです。

努力を重ねて自分を高めていく。不可能と思われることに挑戦していく。決してあきらめずに、困難を乗り越えていく。それは素晴らしいことかもしれません。

ただ「努力は報われる」という言葉が「報われないのは努力が足りないからだ」という裏返しのメッセージとして伝わってしまうと、辛くなってしまう人、苦しくなってしまう人もいます。努力できない人、努力したらつぶれてしまう人もいます。

人生には山もあれば谷もあります。困難を乗り越えられない時、困難に負けてしまう時もあるでしょう。



作業所に来て 36 年半になるメンバーの N さん。お客様からお叱りを受けることもありますが、71 才の今でも電話の作業を担当しています。

努力できる人はしたらよいと思います。努力は報われてよいと思います。しかし「努力は報われる」という話を華々しく美談として取り上げたり、希望の光になると決め付けたりすることの行きつく先は「努力を強いる社会」であり、「努力することは正しい」「人は皆努力すべきである」と努力しない人を否定し排除していく「努力信仰の社会」です。

そのような社会は私たちにとって、本当に生きやすい社会なのだろうか、と思うことがあります。

「人生に無意味なことはない」

私をこの世界に誘い、すでに他界されたある方の言葉がふと脳裏に浮かびます。

ハンディのあるなしに関らず、自分にできることはやって、できないことは助けてもらえばいい。努力はしてもよいし、しなくてもよい。報われるかもしれないし、報われないかもしれない。頂上にはたどり着けないかもしれない。でも人生において無意味なことはない。

そう思える社会の方が生きやすいのかもしれない。(文責・小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行：NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

ゆうメール押印・宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

年会費：正会員 1 万円 (総会議決権)

準会員 1,000 円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会